

【都市と美術研究所】 2025 年 2 月 28 日 発表要旨

## 新宿アイランド パブリックアートプロジェクトの全体像と各作品について

Overview and each artwork of Shinjuku i-Land Public Art Project

南條史生（キュレーター、美術評論家）

Fumio Nanjo

Curator, Art Critic

---

新宿アイランドは住宅・都市整備公団が西新宿六丁目東地区で進めてきた再開発事業です。西新宿の超高層外の北端に位置し、44 階建ての新宿アイランドタワーという高層オフィス棟を中心に、集合住宅、多目的ホール、広場などからなる複合建築群です。パブリックアートの設置は 1995 年に完了しました。

南條史生が代表を務めるナンジョウ アンド アソシエイツ（現 N&A 株式会社）は、本プロジェクトにアート・コンサルタントとして参画し、複合ビルの周辺外溝および建物内部に設置する現代美術作品の選定および作家との交渉、設置等に携わりました。高層ビル群が立ち並ぶ、殺伐になりがちな都会の風景の中にアートを設置することによって事業全体の付加価値を高めることをコンセプトとしています。同時に作品がそれぞれの品格を持ち、合理性や経済性の論理からではなく、精神面での豊かさ、環境を演出できるように配慮しました。このようなコンセプトから、アーティストに開発の意図や建物の性格を理解してもらうことが重要となり、作家は空間と作品の関係をフレキシブルに考えられるアーティストを選定し、作品はすべて提案に基づく注文制作としました。本講演では、作品設置時の写真などを交え、アーティストの選考過程から、当プロジェクトの全体像と各作品のコンセプトについて紹介します。

南條史生

1972 年慶應義塾大学経済学部、1977 年文学部哲学科美学美術史学専攻卒業。国際交流基金等を経て、2002 年より森美術館立ち上げに参画、2006 年 11 月から 2019 年まで館長、2020 年より特別顧問。同年より十和田市現代美術館総合アドバイザー、弘前れんが倉庫美術館特別館長補佐、2023 年 5 月アーツ前橋特別館長に就任。1990 年代末より 1997 年ヴェニスビエンナーレ日本館を皮切りに、1998 年台北ビエンナーレ、2001 年横浜トリエンナーレ、2006 年及び 2008 年シンガポールビエンナーレ、2016 年茨城県北芸術祭、2017 年ホノルルビエンナーレ、2021 年北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs、2021 年～2023 年 Fuji Textile Week 等の国際展で総合ディレクターを歴任。著書として「アートを生きる」（角川書店、2012 年）等。